

令和元年度
農林水産省
食料産業
局長賞
生産部門

株式会社長谷川農場 栃木県

循環型農業で「足利マール牛」誕生 地元にも愛される牛肉を目指す！



現在、約 700 頭の交雑種の肥育牛を中心に、米麦、アスパラガス、たまねぎを生産。地元のワイナリーがワインぶどうを絞った後の果皮や種（仏語：マール）が大量に産業廃棄となっていることを知り、乳酸発酵させて牛に給餌するように。その結果、牛の色味も格段に良くなったため、ワイナリーからマールを仕入れ、牛の堆肥をワイナリーに還元する循環型農業を開始。そして、2013 年「足利マール牛」ブランドを発足。また、主な餌である稲藁は自給で賄うほか、地元生産者からも仕入れ、代わりに堆肥を畑に還元することも実施。さらには、加工会社株式会社つちのかを設立し、商品開発をするほか、農場の視察や食育活動、イベントを通じ、地域交流も行っています。



マールを給餌している様子



長谷川農場スタッフ



牧場風景

令和元年度
農林水産省
食料産業
局長賞
生産部門

紀の里農業協同組合 和歌山県

直売拠点として1,500名を超える 生産者をまとめ地域をまるごと 「紀の里」にブランディング



販路の多様化や産地競争、生産基盤の変化を目的として、全国に先駆けて2000年に「めっけもん広場」をオープンしました。

出荷者の中から「体験農業部会」や「紀の川梅干し振興協議会」を立ち上げ、また広場内に「イートインコーナー」や食農体験交流施設「楽農クラブハウス」を設置、さらには旬の地域食材を使用したオリジナルレシピをクックパッドに掲載する等、常に新しい取り組みを続けています。

既存の5直売所や道の駅と合わせて生産・直接販売の地域拠点として営業することにより地場産農産物の生産拡大にも繋がっています。



めっけもん市場



芋ほり収穫体験



餅つき体験

令和元年度
農林水産省
食料産業
局長賞
食品産業部門

株式会社東北協同事業開発

「古今東北」の販路拡大を通じ、**宮城県**地域経済発展に寄与。海外も視野に。



2015年4月震災復興と東北地方の経済活性化（主に販路拡大）を目的にみやぎ生協とコープ東北サンネット事業連合の子会社として設立。11月に「古今東北」ブランドとして販売開始。当初は38品目でしたが、現在は約175品目まで拡大、2018年度売上は約12億円になりました。

塩害農地に強い「なたね」を植え、菜種油を使用した商品や津波被害を受けた亘理町では「そば」を栽培し、商品化し販売。福島県川内村で栽培される「リーフレタス」、南三陸町の「小松菜」、石巻市の「わかめ」など、東北被災地の商品を「古今東北」ブランドとし、品質管理として、カルテ管理と品質保証フローの実践も行い、生協以外にも販路開拓を積極展開しています。



小松菜生産者(南三陸町)



ブランド設立発表会



パックごはん・米生産者(南相馬市)

令和元年度
農林水産省
食料産業
局長賞
食品産業部門

朝日町農村女性グループ 連絡協議会

富山県

地場産食材を一層美味しく… 朝日の「食」は、私たちにおまかせ！

1960年代後半頃の農村生活における課題（食生活や健康管理等）の改善を図ることを目的に農村女性の研究グループが誕生し、「家庭菜園づくり」「農産物を活かした保存食づくり」など栄養改善や労働改善に取り組みながら健康な農家生活の実現を目指し様々な活動を展開してきました。

1977年に「朝日町農村婦人グループ協議会」(現：朝日町農村女性グループ連絡協議会)を設立。現在、地産地消活動、女性の社会参画を目的とし10グループに分かれ、複数の直売所への出荷、郷土料理の技術伝承、加工品開発、食育・農育活動など、熱心に取り組んでいます。



努力で実現した「元気母さんマーケット」



郷土食「みそかんぱ」の伝承活動



さつま芋ランチで子供達は大喜び